

中東情勢に伴う資材の 価格高騰・供給不足に関する実態調査

鍍金塗装・整備事業者594社の8割超が
「シンナーの入手に支障」

n = 594 / 全国の鍍金塗装・自動車整備事業者など

実施主体:株式会社プロトリオス

2026年5月25日

はじめに

中東情勢の悪化を背景に、自動車補修分野で使用されるシンナーや塗料などの資材で、入手難や価格上昇が報じられています。塗料メーカー各社では2021年以降、複数回にわたる価格改定が実施されてきましたが、ここに来て钣金塗装・自動車整備の現場では「入手そのものが難しくなっている」という声も聞かれるようになりました。

そこで株式会社プロトリオスは、全国の钣金塗装・自動車整備事業者など594名を対象に、シンナー・塗料(原色)・パーツクリーナー・エンジンオイルの4資材について、入手状況・在庫・価格・事業継続可能期間に関する実態調査を実施しました。本稿では、その調査結果を集計事実として整理してお伝えします。

記事の調査結果や画像を引用する場合は、「BSRweb | 株式会社プロトリオス」を明記のうえ、引用元として本記事のURLの設置をお願いいたします。
<https://bsrweb.jp/article/495419>

【お問い合わせ先】

株式会社プロトリオス「BSRwebについてのお問い合わせ」フォームから、またはメールで下のメールアドレスまでお願いいたします。

<https://bsrweb.jp/support/bsr-form>

E-mail: press@proto-rios.co.jp

調査結果サマリー | 主要数値ハイライト

88.7%

シンナーの取扱事業所で
入手困難または納期遅延

n=573

86.9%

エンジンオイルの取扱事業所で
入手困難または納期遅延

n=466

150% ↑

シンナーの仕入れ価格は
回答全社が150%の値上がり

n=547

50.5%

塗料を希望容量・数量で
購入できていない事業所

n=570

77.1%

シンナー在庫が2ヶ月未満
しかない事業所

n=576

65.5%

3ヶ月以内に経営継続が
困難になる事業所

n=594

56.6%

すでに納期または
売上に影響が出ている

n=594

4.9%

同業者間で協力体制が
すでにできている事業所

n=594

調査背景

ナフサ由来資材の供給に影響、価格上昇から「入手困難」へ

- 自動車補修用の塗料・シンナーをはじめ多くの資材は、ナフサを原料とする化学品をベースとしています。
- 中東情勢の悪化により、ナフサ由来資材の供給に影響が及んでいると報じられ、塗料メーカー各社では2021年以降、複数回にわたる価格改定が実施されてきました。
- 2026年に入って以降は「価格上昇」だけではなく「そもそも入手できない」「希望する容量で買えない」という声が現場から聞かれるようになっていきます。
- 本調査は、現場の事業者がどの資材で、どの程度の入手難・価格上昇・在庫不足に直面しているのか、また納期や売上、経営継続にどのような影響が出ているのかを、定量的に可視化することを目的に実施しました。

本調査が明らかにしたこと

- 01 4資材別の入手・在庫・価格の逼迫度
- 02 値上がり率の分布と継続可能期間
- 03 納期・売上・経営継続へのインパクト
- 04 同業者間の協力体制の現状
- 05 現場の自由記述から見える課題

調査概要

Webアンケートによる594名の自己申告ベース調査

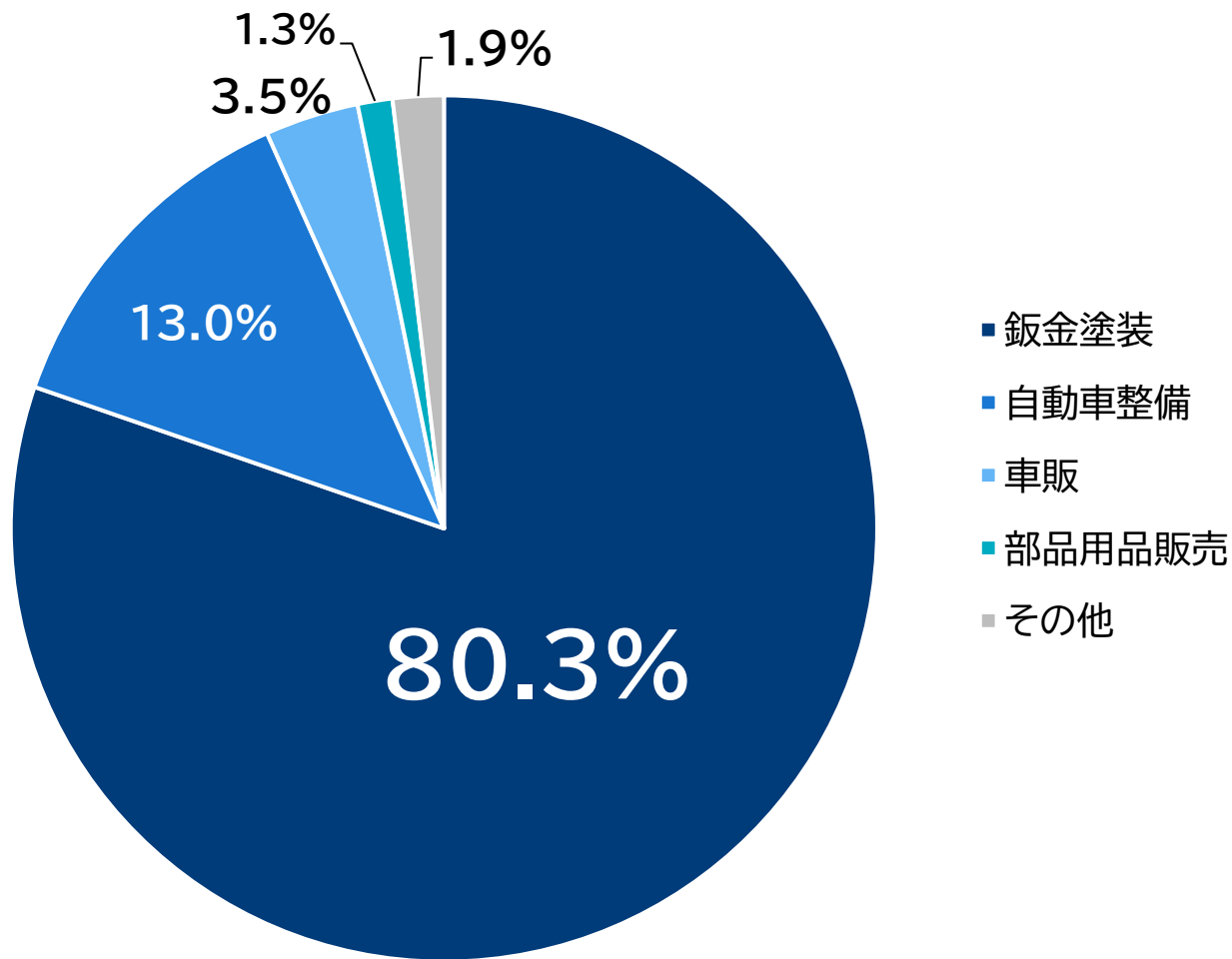
項目	内容
調査名称	中東情勢に伴う資材の価格高騰・供給不足に関する実態調査
調査主体	株式会社プロトリオス
調査対象	全国の钣金塗装・自動車整備事業者など
サンプル数	594名(钣金塗装477/自動車整備77/車販21/部品用品販売8 ほか)
調査方法	Webアンケート
調査期間	2026年4月22日～5月13日
設問構成	シンナー/塗料(原色)/パーツクリーナー/エンジンオイルの入手状況・在庫・価格・継続可能期間、納期・売上影響、経営継続可能期間、自由記述

※ グラフの数字は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※ 本調査は自己申告に基づく集計であり、業界全体を代表するものではありません。钣金塗装業の回答が80.3%を占めるため、結果は钣金塗装業の実態を中心に表しています。

回答者属性① | 業態構成は「钣金塗装」が8割を占める

n=594 / 本調査は钣金塗装業の実態を中心に表す結果



POINT

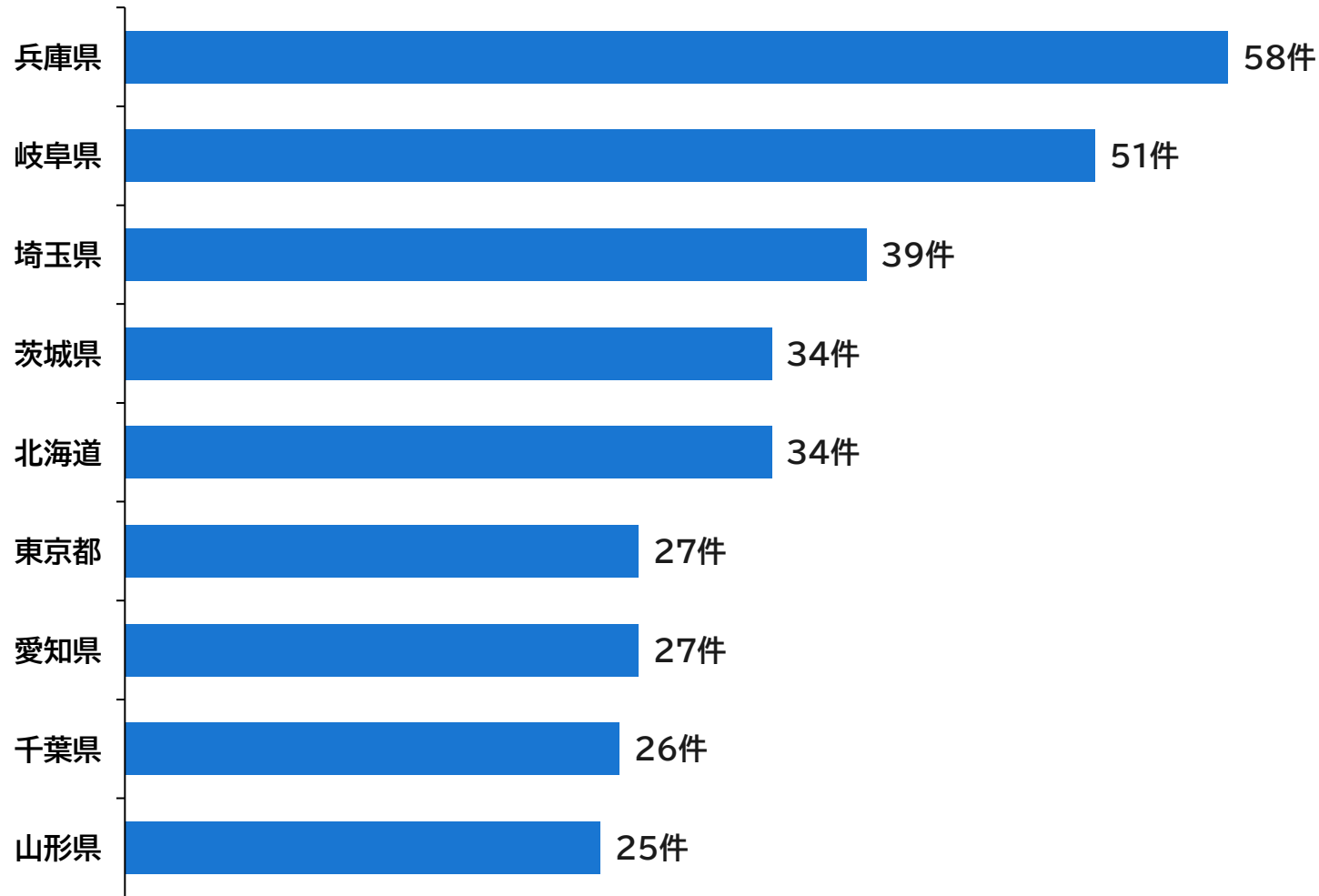
钣金塗装が回答の「80.3%」を占める

- 钣金塗装 477件 (80.3%)
- 自動車整備 77件 (13.0%)
- 車販 21件 (3.5%)
- 部品用品販売 8件 (1.3%)
- その他 ロードサービス・特装・架装・ガラス販売施工 など

回答は钣金塗装業に偏っているため、結果の解釈にあたっては钣金塗装業の実態を中心に表す点に留意が必要です。

回答者属性② | 回答地域は全国43都道府県以上に分散

特定地域に集中せず、全国の事業者から広く回答



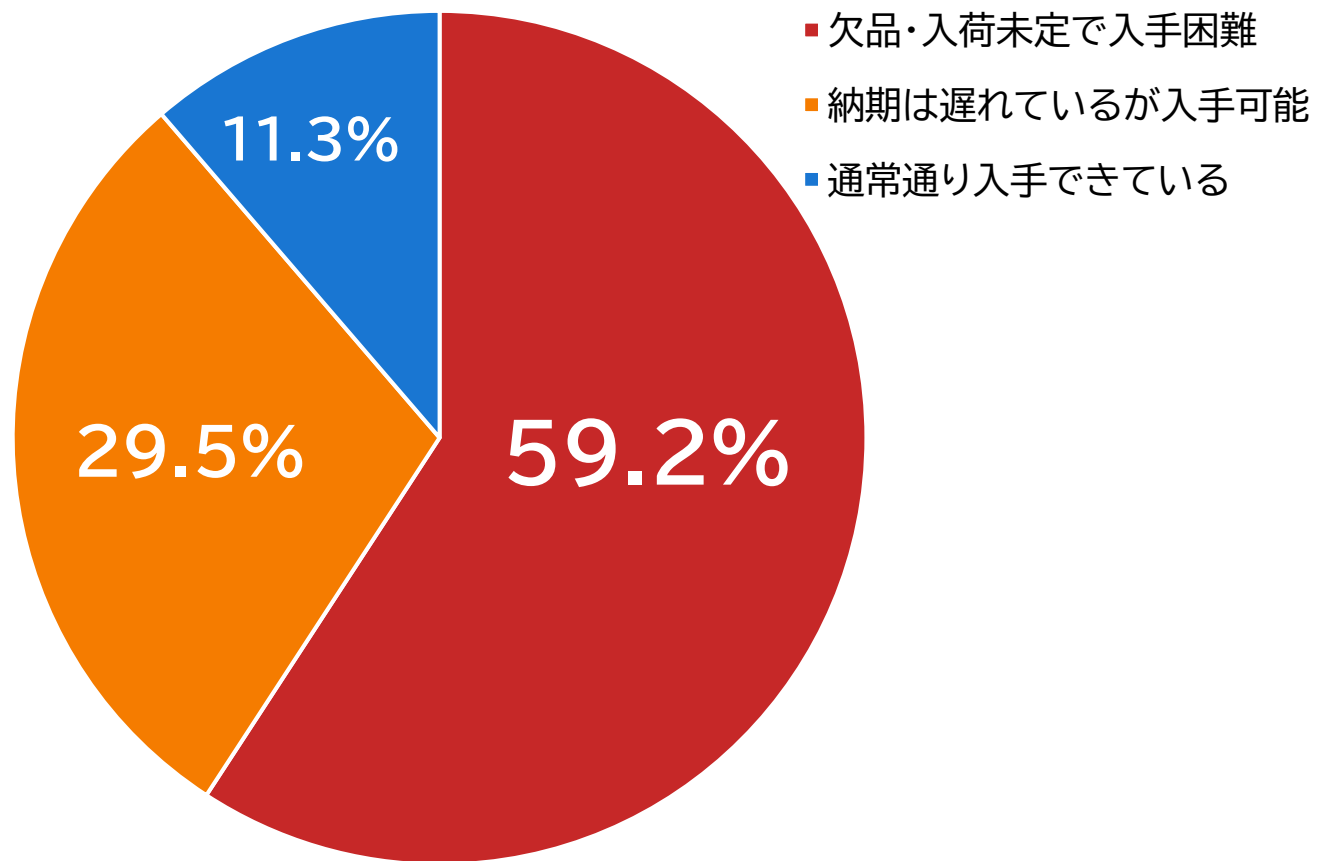
POINT

回答は全国43都道府県以上に分散

特定地域に集中しておらず、全国規模で資材の入手難・価格高騰が広がっていることが伺えます。

シンナーの入手状況 | 取扱事業所の88.7%で「困難または納期遅延」

Q3-1. 現在のシンナーの入手状況について(n=573)



POINT

88.7%

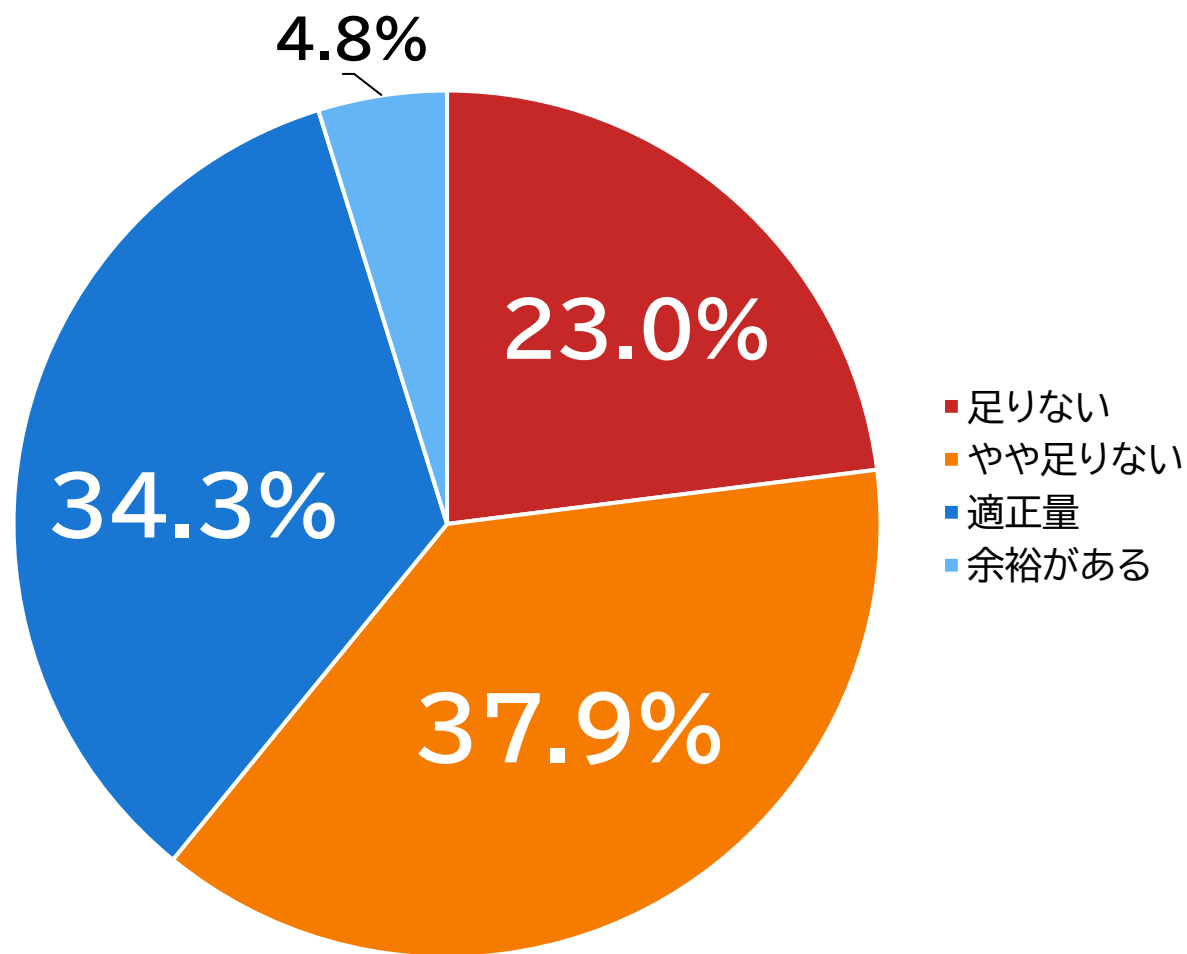
が「欠品」または「納期遅延」

- 「欠品・入手困難」 59.2%
- 「納期遅延」 29.5%
- 「通常通り入手」 11.3%

通常通り入手できているのは1割強にとどまります。

シンナーの在庫状況 | 「足りない／やや足りない」で60.9%

Q3-2. 事業所でのシンナーの在庫状況について(n=578)



POINT

60.9%

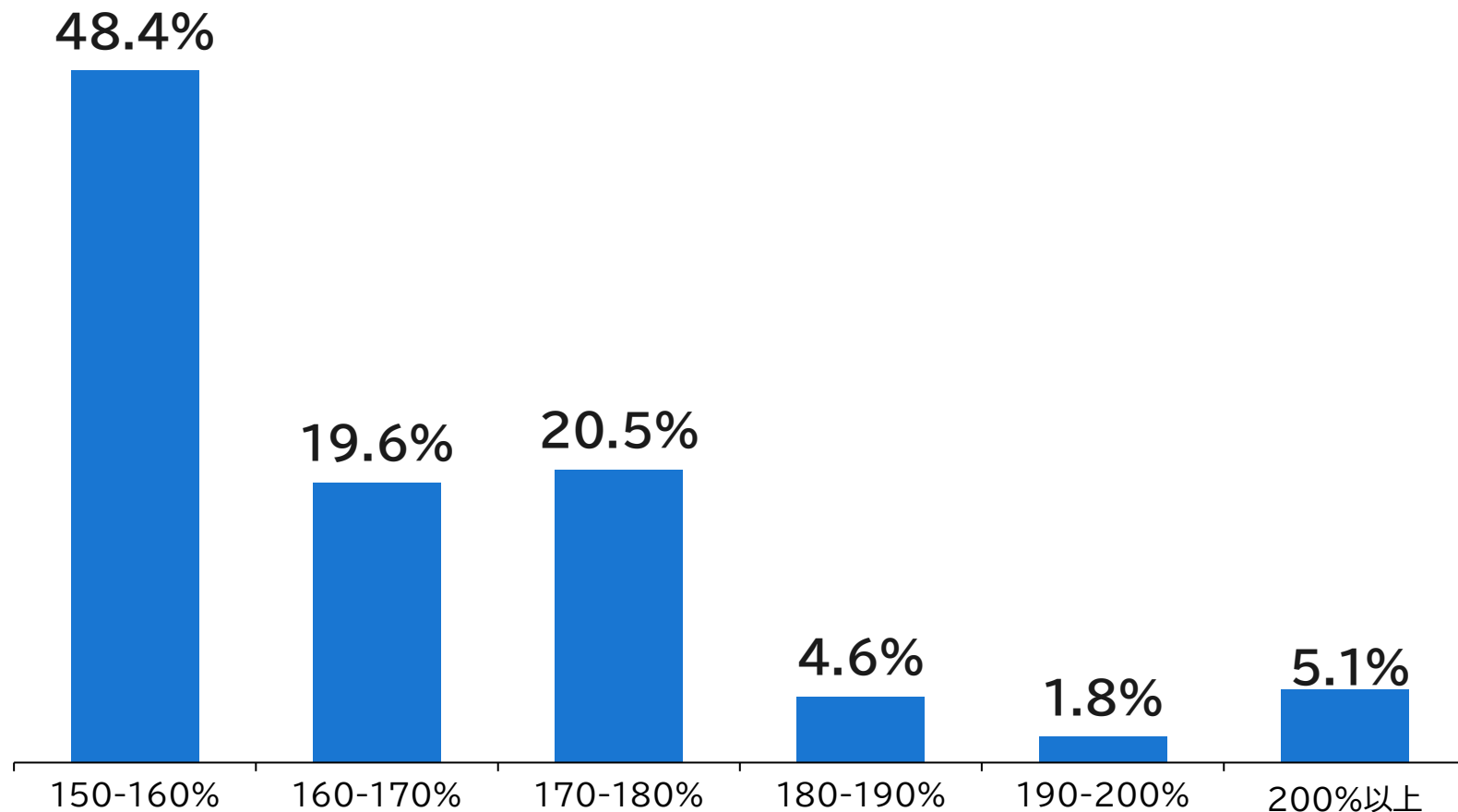
が在庫不足を実感

- 「やや足りない」 37.9%
- 「適正量」 34.3%
- 「足りない」 23.0%
- 「余裕がある」 4.8%

在庫不足を感じている事業所が過半数を超える結果。

シンナーの仕入れ価格 | 回答全社が150%以上、32.0%は170%以上

Q3-3. シンナーの仕入れ価格は情勢悪化前(または前年)と比べてどの程度値上がりしていますか(n=547)



POINT

全社が150%以上の
値上がりを経験

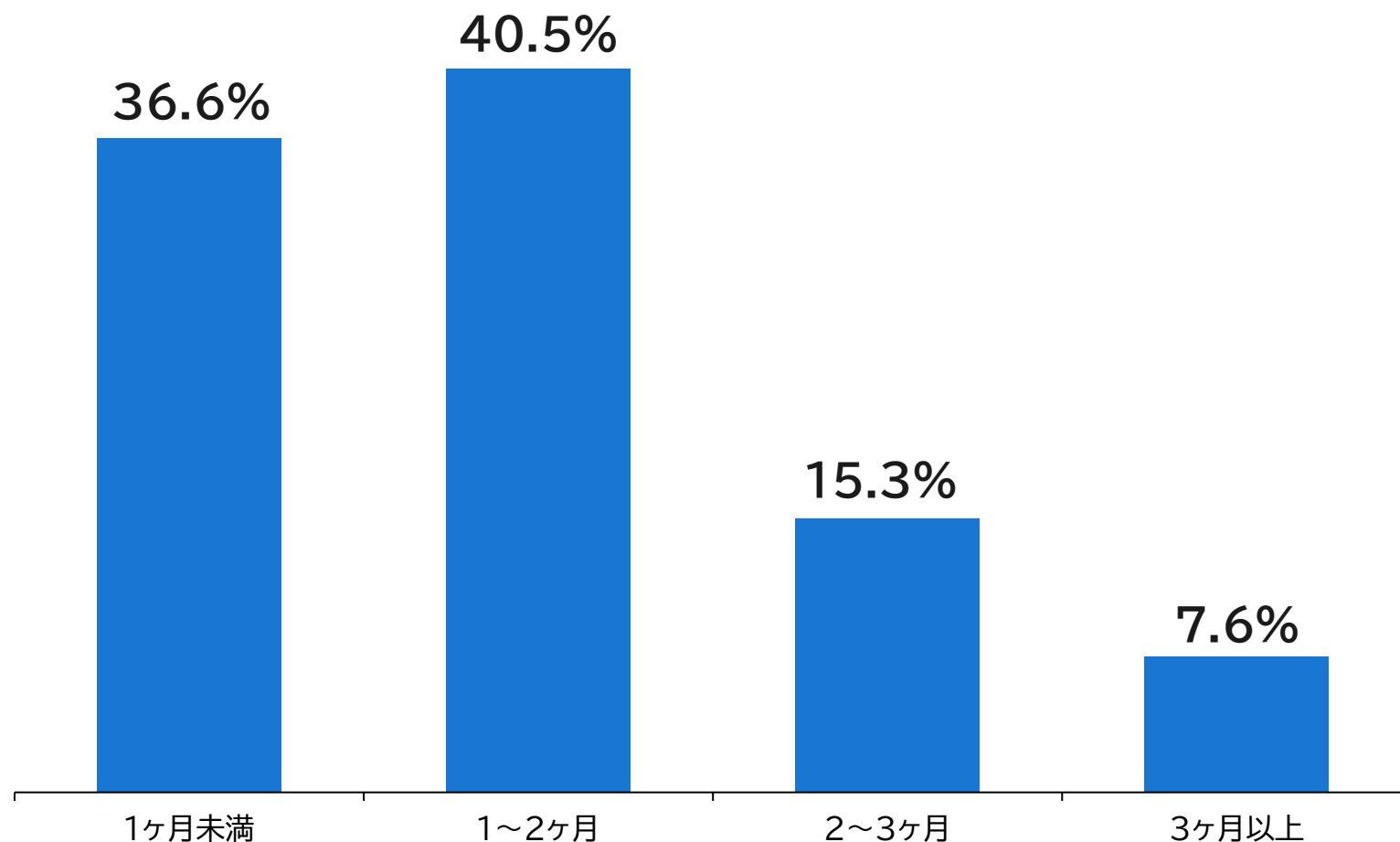
170%以上は

32.0%

150-160%帯が48.4%と最多。
シンナーは4資材中もっとも
価格上昇幅が大きい結果に。

シンナー在庫切れまでの期間 | 「2ヶ月未満」が77.1%

Q3-4. 万が一シンナーが全く入荷しなくなった場合、現在の在庫で事業継続が可能な期間(n=576)



POINT

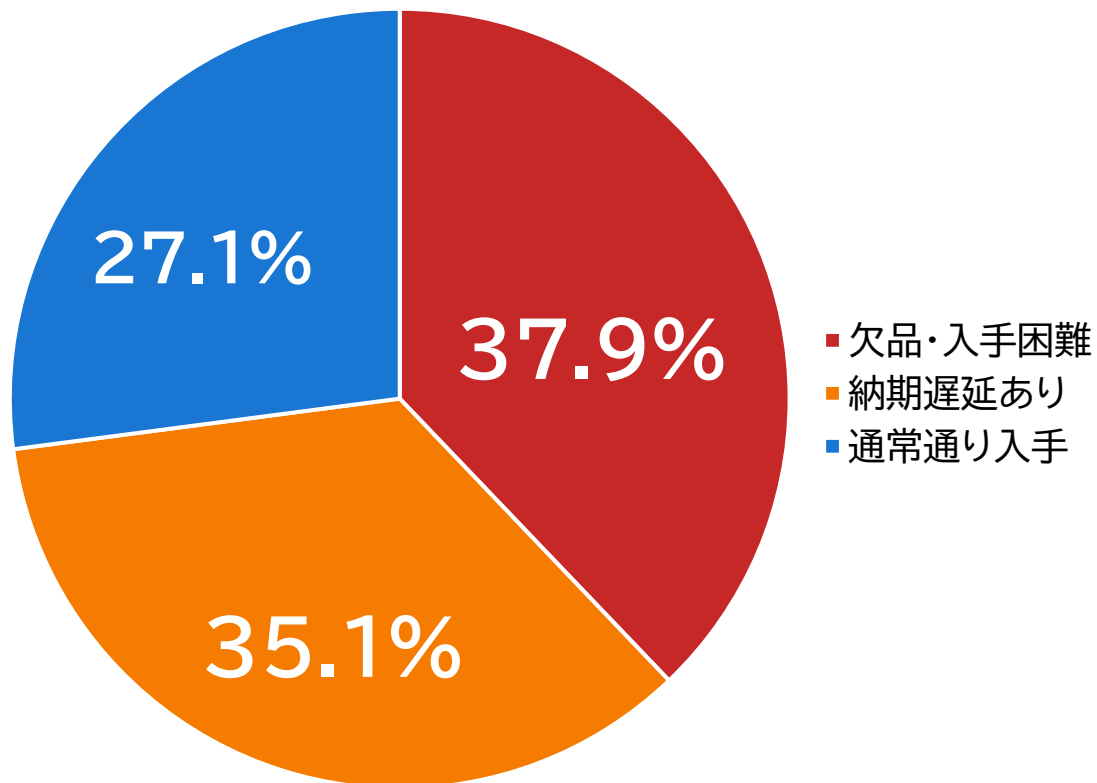
77.1%
が「2ヶ月未満」

うち「1ヶ月未満」が36.6%。
シンナーが完全に止まった場合、
在庫余力は極めて限定的。

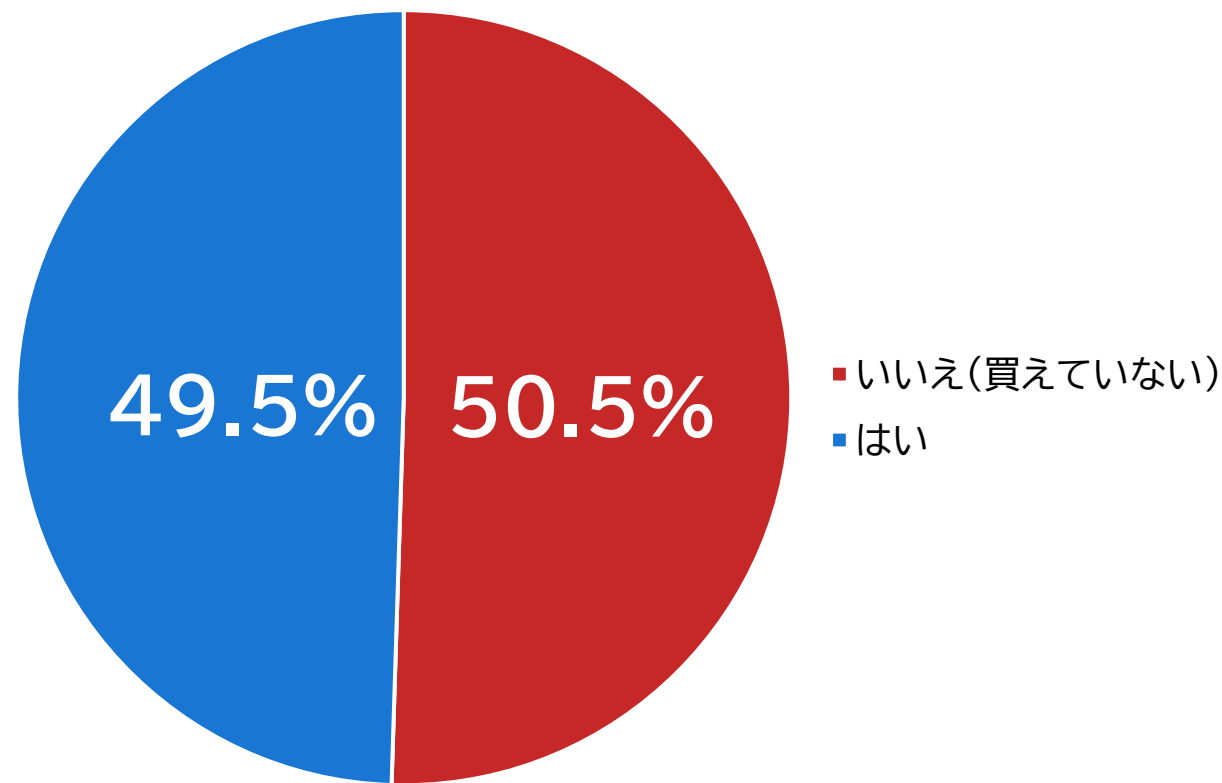
塗料(原色)の入手状況 | 「希望容量で買えていない」が約半数

Q4-1 入手状況(n=573) / Q4-3 希望容量・数量で購入できているか(n=570)

Q4-1. 入手状況



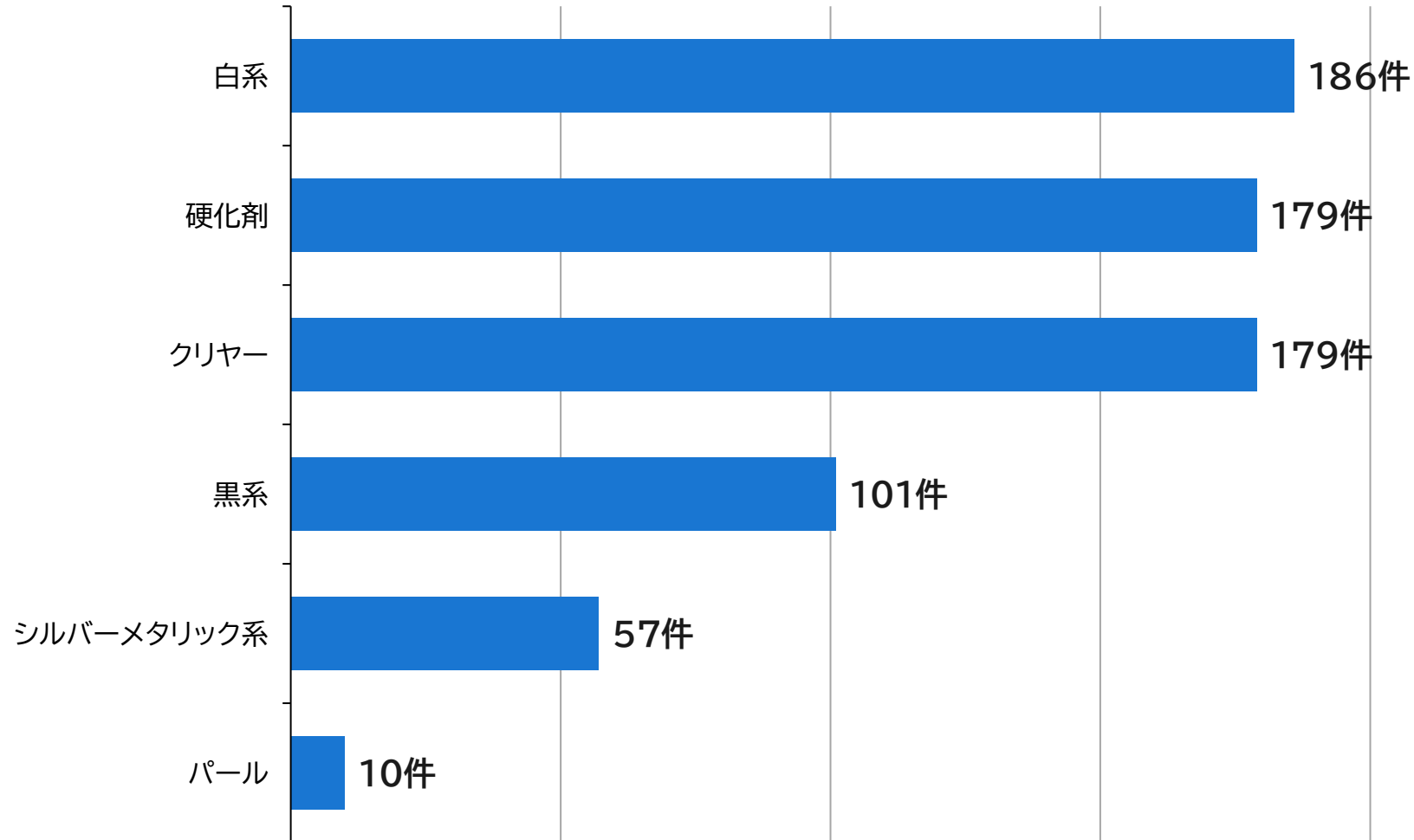
Q4-3. 希望容量・数量で購入できているか



入手自体はできていても、容量・数量レベルで制約。約7割で何らかの支障、約半数が希望どおりに購入できていない。

塗料(原色) | 不足原色は「白系・クリヤー・硬化剤」に集中

Q4-4. (希望容量で買えていない方へ) 不足している原色はありますか(複数回答)



POINT

使用頻度の高い原色に不足が集中

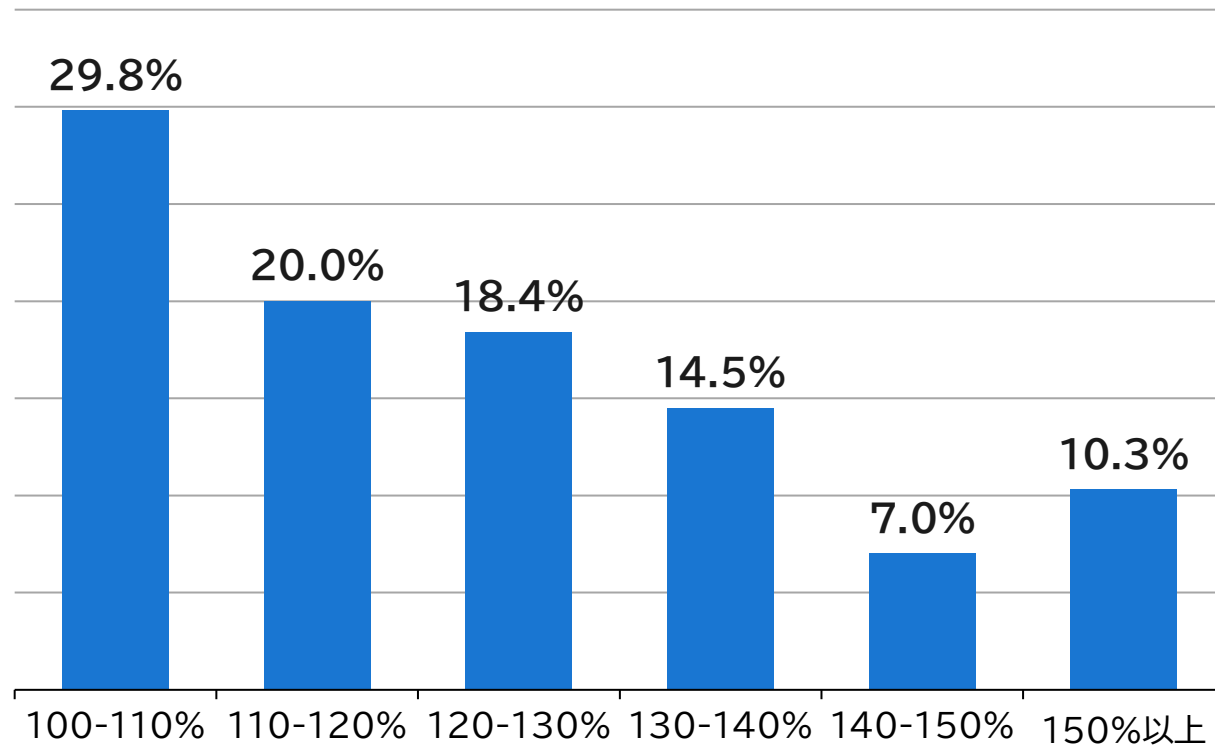
白系(186件)、クリヤー(179件)、硬化剤(179件)が突出。鉄金塗装で日常的に使う原色の供給が逼迫し、現場の作業進捗に直結するリスクが顕在化しています。

ソリッド塗色にもクリヤーが含まれており、ほぼすべての塗色に影響があることを意味しています。

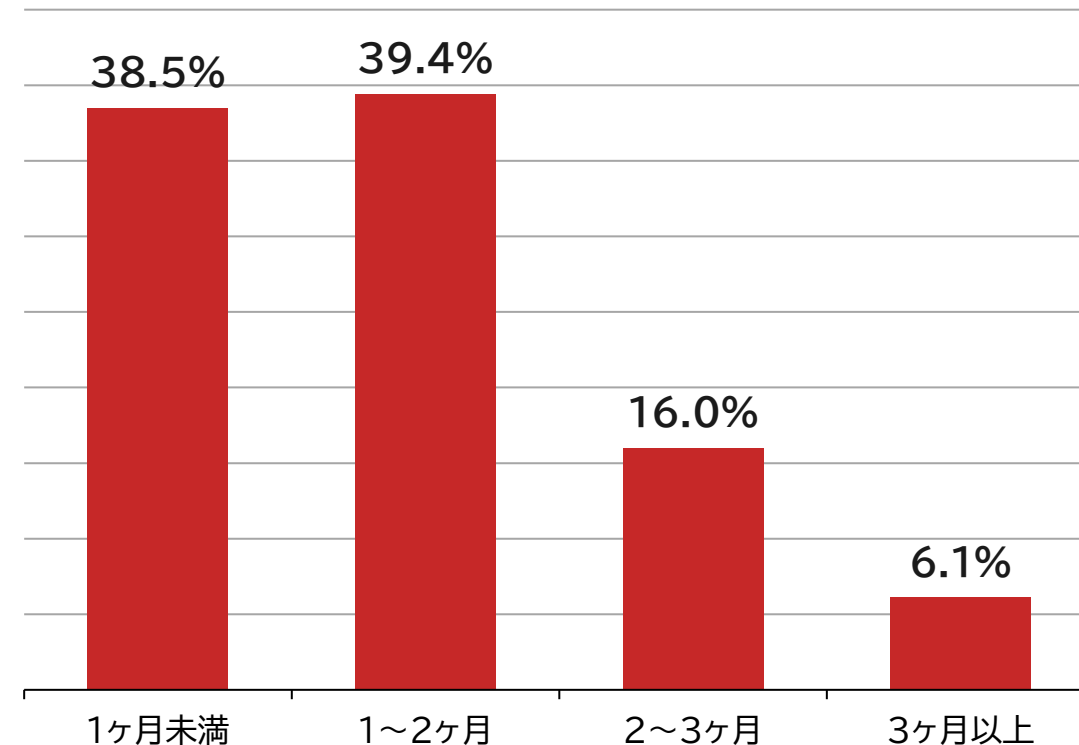
塗料(原色)の仕入れ価格と継続可能期間

Q4-5 値上がり率(n=544) / Q4-6 在庫切れまでの期間(n=574)

Q4-5. 値上がり率



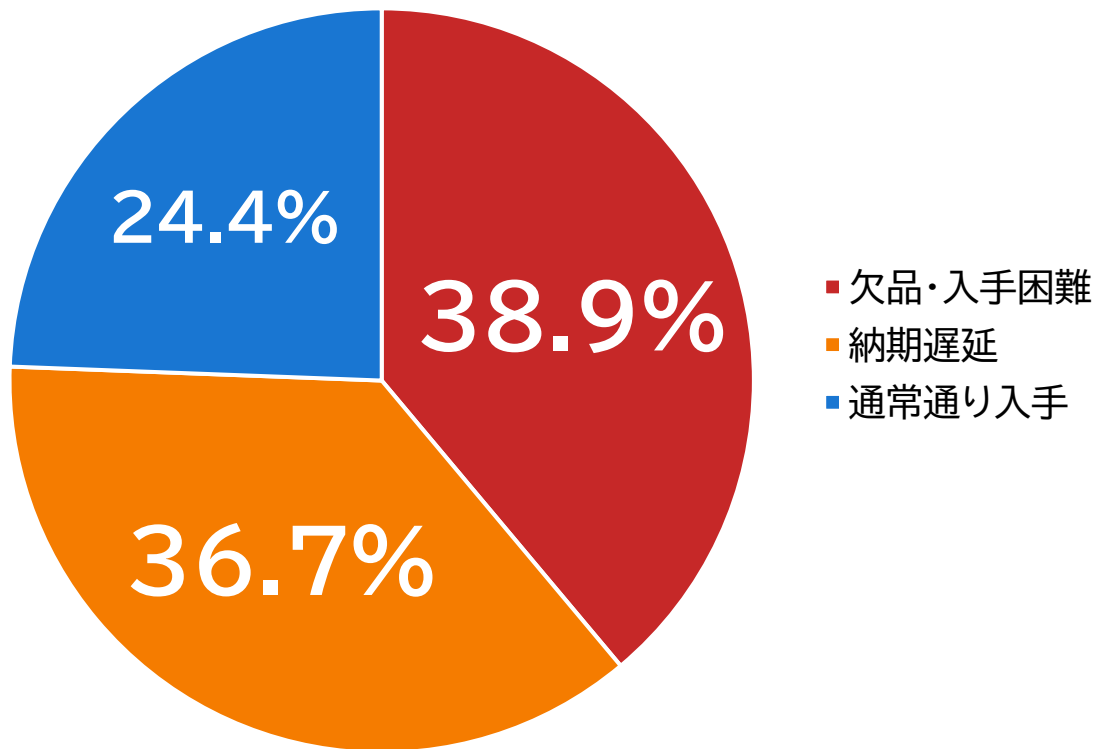
Q4-6. 在庫切れまでの期間



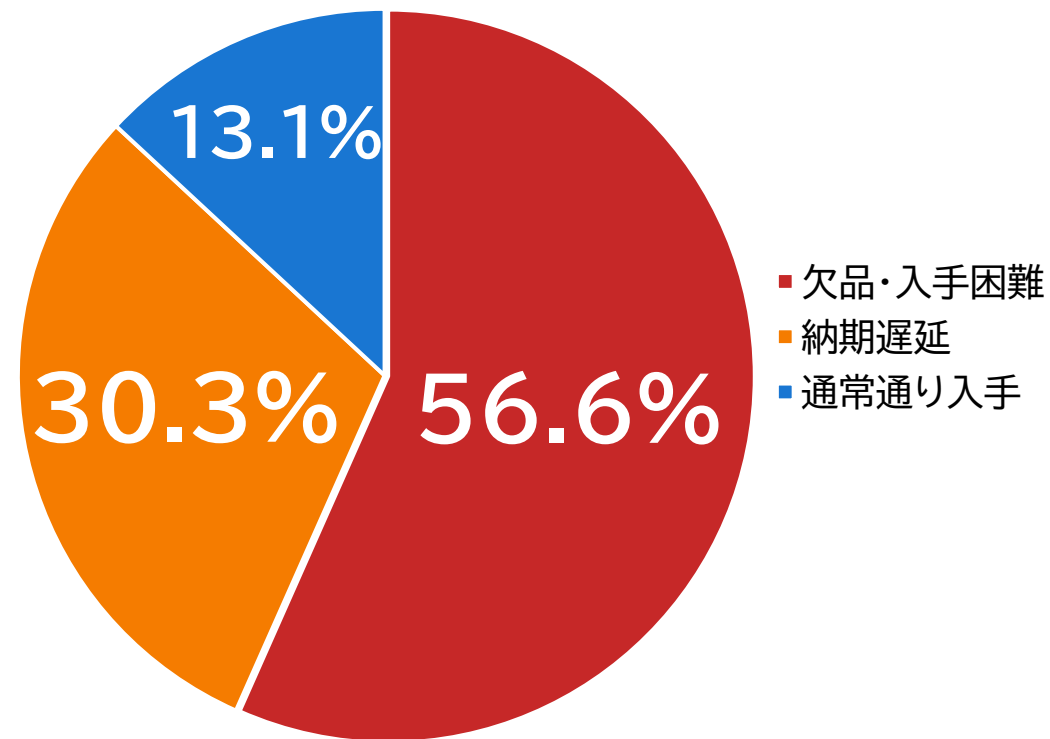
パーツクリーナーとエンジンオイルの入手状況

Q5-1 パーツクリーナー(n=496) / Q6-1 エンジンオイル(n=466)

パーツクリーナー (n=496)



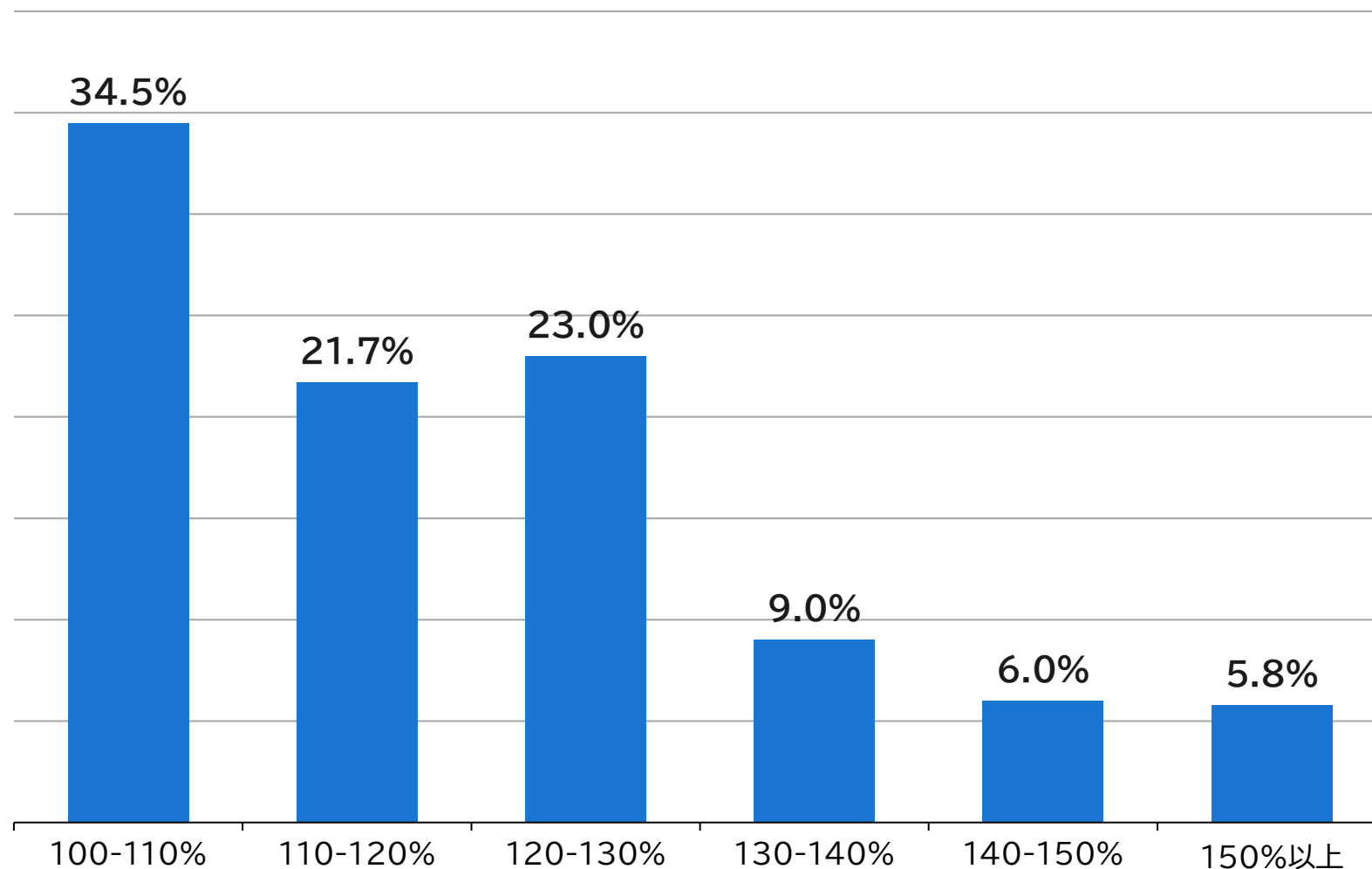
エンジンオイル (n=466)



パーツクリーナー75.6% / エンジンオイル86.9%で「困難 or 遅延」。整備業務への影響も懸念。

エンジンオイルの仕入れ価格 | 130%未満が約8割(79.2%)

Q6-3. エンジンオイル仕入れ価格の値上がり率(n=469)



POINT

値上がり幅は
やや緩やか

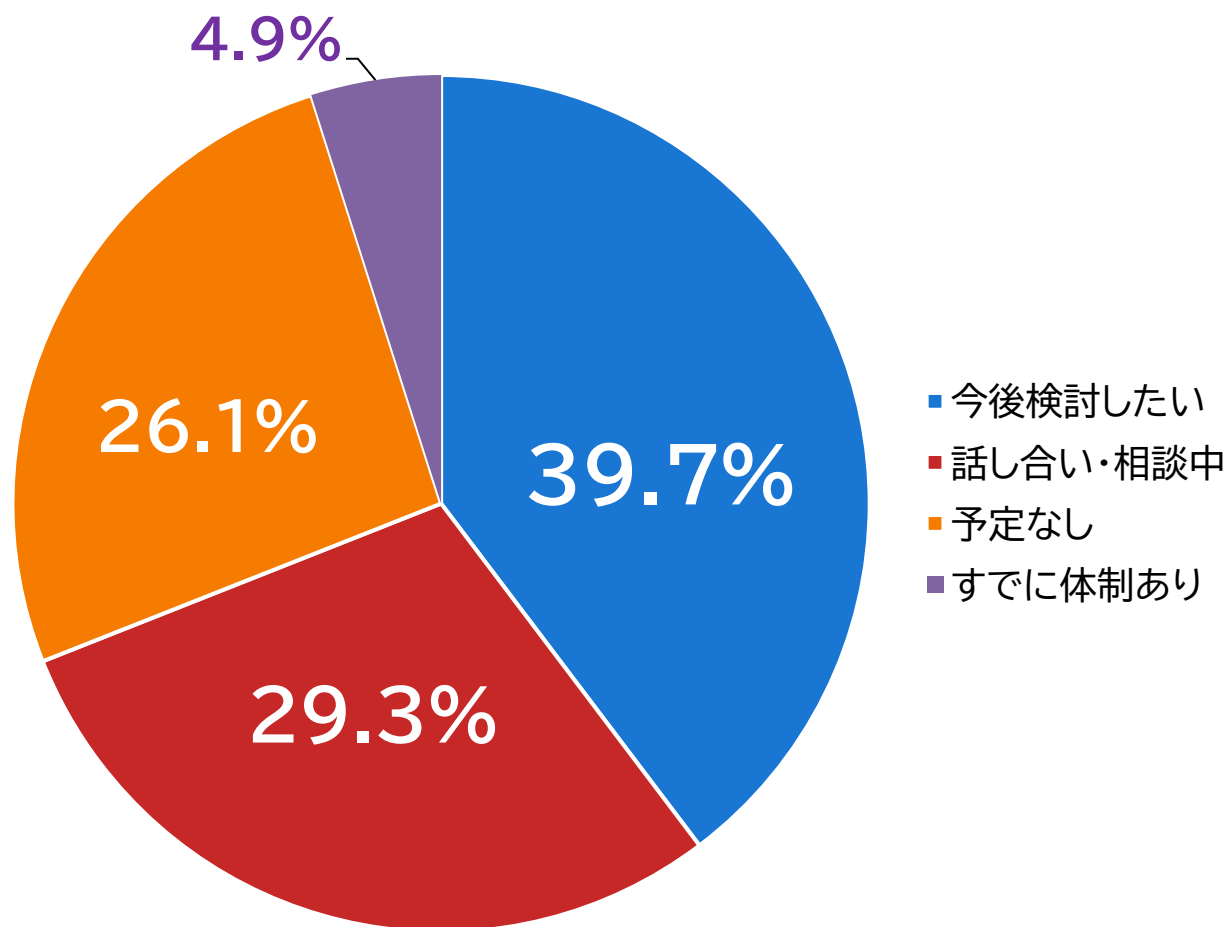
130%未満が

79.2%

シンナー・塗料と比較すると価格上昇幅は緩やか。ただし入手難そのものは深刻。

同業者間の協力体制 | 「すでに体制あり」は4.9%にとどまる

Q7-1. 近隣の同業者と資材の融通について話し合っていますか(n=594)



POINT

体制構築済みは

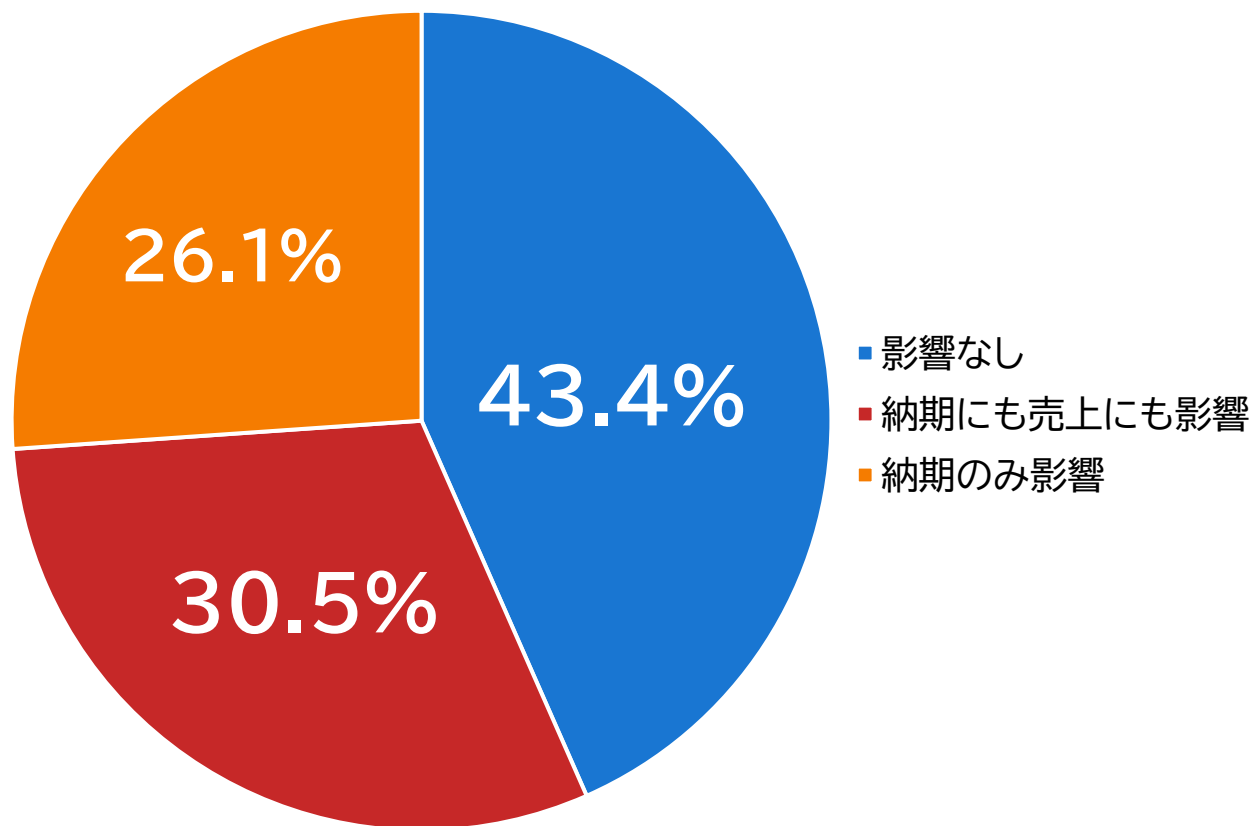
4.9%

一方で「今後検討」(39.7%)と「相談中」(29.3%)を合わせると69.0%。

前向きな姿勢を示す事業者が多く、今後の連携・情報共有への関心は高い。

お客様への影響 | 何らかの影響が出ている事業所は56.6%

Q7-2. 納期延長・受注見送り・売上への影響(n=594)



POINT

56.6%

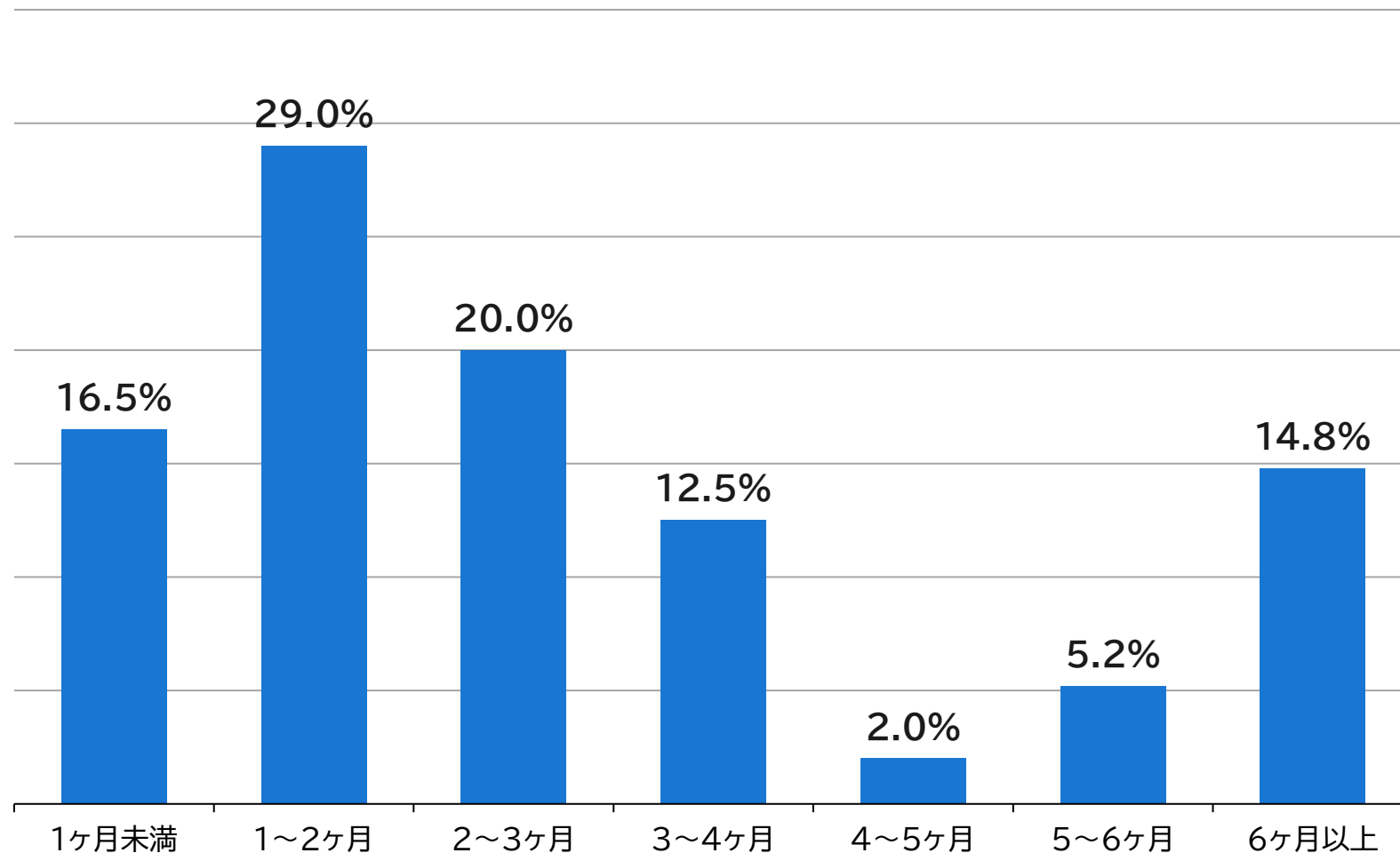
が納期or売上に影響あり

- 納期にも売上にも影響 30.5%
- 納期のみ影響 26.1%
- 影響なし 43.4%

影響あり・なしがほぼ拮抗し、状況は事業所ごとに二極化。

経営継続可能期間 | 65.5%が「3ヶ月以内に困難」と回答

Q7-3. 資材がなく通常営業ができなくなった場合の経営継続可能期間(n=594)



POINT

65.5%

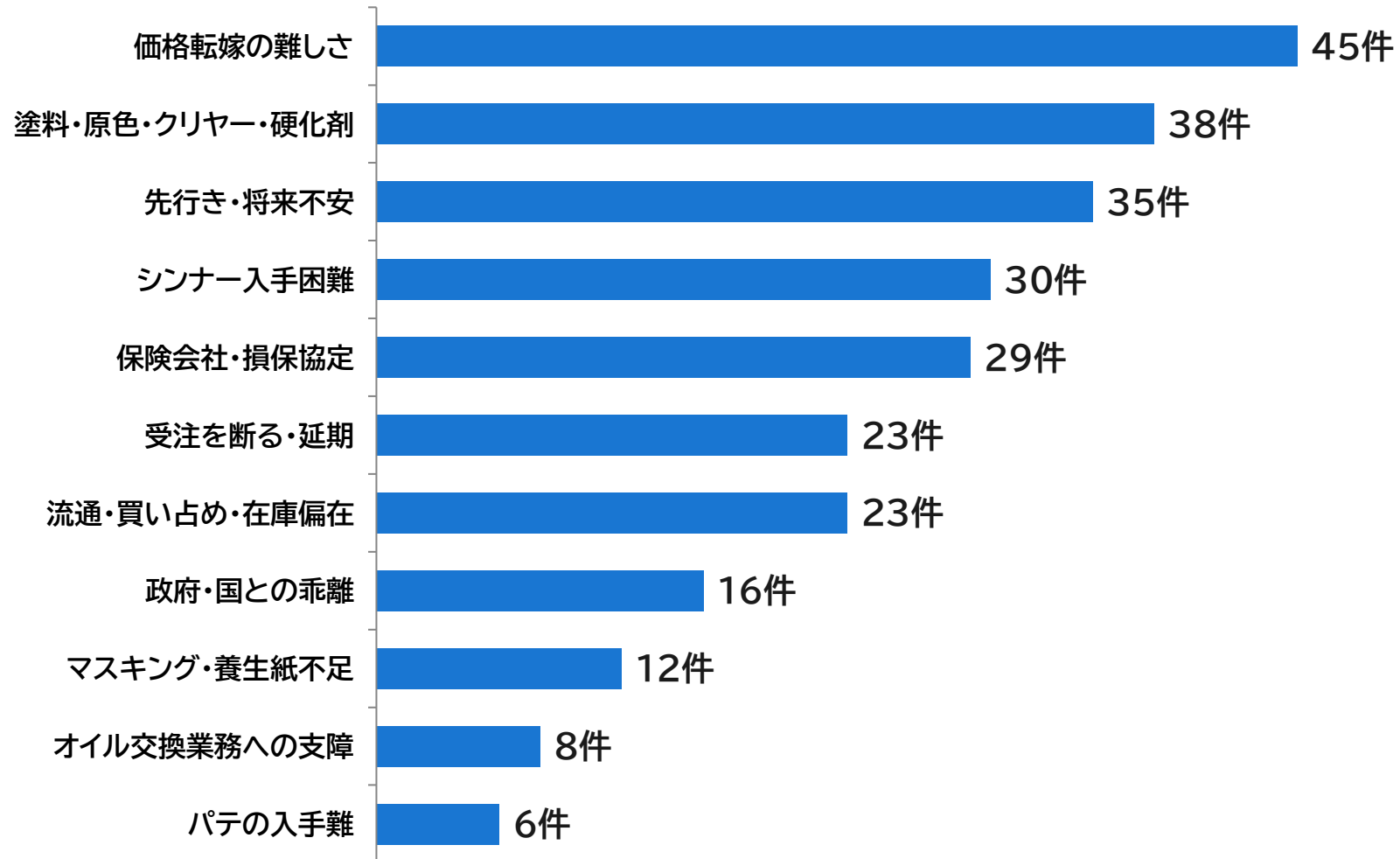
が「3ヶ月以内に困難」

うち「1ヶ月未満」が16.5%。
供給停止リスクは経営継続そのものに直結し、業界横断での対策が急務。

物資がなくなり、通常営業ができなくなると、半数以上が3ヶ月以内に廃業する可能性がある。

自由記述から見える現場の声 | 価格転嫁が突出

Q7-4. 自由記述(n=211件 / 回答率35.5%) テーマ別言及件数



POINT

保険修理の協定価格に
値上げ分が反映されない

「価格転嫁の難しさ」が突出。

個人客に値上げ分を上乗せしづらい、事前見積もりの金額のままでは仕事を受けられない、といった声が複数の回答に。

総括 | 調査結果から客観的に言えること

資材ごとの逼迫度、在庫余力、影響の二極化を整理

01 資材ごとに逼迫度に差

- シンナー入手困難 59.2%
- エンジンオイル入手困難 56.7%

4資材のうちシンナーとエンジンオイルの逼迫度が突出。

シンナーは仕入れ価格が150%以上の値上がりを経験する事業所が回答全体を占める。

02 在庫余力と経営継続リスク

- シンナー在庫2ヶ月未満 77.1%
- 塗料在庫2ヶ月未満 77.9%
- 3ヶ月以内に経営困難 65.5%

資材が完全に止まれば、1ヶ月未満で経営継続が困難になる事業所も16.5%存在し、業界横断の対応が急務。

03 影響の二極化と今後の論点

- 納期・売上影響あり 56.6%
- 同業者協力体制あり 4.9%

影響あり・なしがほぼ拮抗し二極化。

今後は資材調達体制の構築、お客様・保険会社との価格コミュニケーションが業界全体の論点に。

※ 本調査は自己申告に基づく集計であり、業界全体を代表するものではありません。鍍金塗装業の回答が80.3%を占めるため、結果は鍍金塗装業の実態を中心に表しています。

さいごに

株式会社プロトリオスでは引き続き、業界の実態調査と情報発信を通じて、現場の事業者の皆様に役立つコンテンツをお届けしてまいります。

株式会社プロトrios 会社概要

会社名	株式会社プロトrios (PROTO RIOS INC.)	
本社	〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町2-3-7 アーバンエース北浜ビル2階	
資本金	6,000万円	
設立	1967年7月 (2012年1月 (株)リペアテックと(株)システムワンが合併し、現商号へ変更)	
従業員数	114名(アルバイト・派遣を除く・2026年4月現在)	
拠点	大阪本社、札幌支社、仙台支社、東京支社、名古屋支社、福岡支社	
事業内容	自動車整備钣金統合システム「LinkS C ³ 」「ラクロスⅢ」など、関連ソフトウェアの開発および販売。 車体修理業界情報誌「BSR」、整備業界情報誌「MSR」など、自動車の修理・整備に関する各種出版物の発行。 車体修理技術・車体修理事業および自動車整備事業に関する各種支援、研修サービスの提供。 自動車業界向けビジネス情報サイト「Mobiria(モビリア)」、カーアフターマーケット事業者向け「BSRweb」、整備事業者向け「MSRweb」、 補修部品・機器系情報「Aftermarket News Web」、自動車整備士のための求人・転職サイト「クラッチ求人」の企画・制作・運営。	
役員	代表取締役会長	宗平 光弘
	代表取締役社長	福本 尚基
	取締役	石本 貴幹
		須賀川 薫
		小川 直紀
		坂田 良治
		北口 祐輔
	監査役	山田 信二
	執行役員	松崎 弘和
		久保 和也



プロトriosは、プロトコーポレーションのグループ会社です。

株式会社プロトコーポレーションは、1977年の創業以来、中古車情報誌「グー」を主製品に大きく成長してきた企業です。主に中古車業界で躍進を遂げてきた同社と、自動車修理・整備業界をコアビジネスとする当社は、グループ戦略である「カーライフサイクル」の実現に向け、グループシナジーの最大化を目指します。

株式会社プロトコーポレーション 会社概要
【会社名】株式会社プロトコーポレーション
〈東証プライム市場(登録銘柄コード4298)〉
【本社】愛知県名古屋市中区葵1-23-14(プロト葵ビル)
【URL】<https://www.proto-g.co.jp/>
【事業内容】新車・中古車、パーツ・用品等をはじめとしたモビリティ関連情報ならびに生活関連情報サービスの提供

株式会社プロトリオス 所在地、沿革

所在地

大阪本社

〒541-0046 大阪市中央区平野町2-3-7 アーバンエース北浜ビル2階
販売管理課(出版物関連) :TEL 06-6227-5661 / FAX 06-6227-5664
営業部(システム関連) :TEL 06-6227-0059 / FAX 06-6227-5701
メディアコンテンツ部/管理部 :TEL 06-6227-5662 / FAX 06-6227-5664
BASEコンテンツ部 :TEL 06-6227-5601 / FAX 06-6227-5606
システム開発部 :TEL 06-6227-5663 / FAX 06-6227-5606

札幌支社

〒060-0034 札幌市中央区北4条東2-8-2 マルイト北4条ビル4階
TEL 011-839-8924 / FAX 011-351-5589

仙台支社

〒984-0051 仙台市若林区新寺3-5-18 プロト仙台ビル
TEL 022-792-9333 / FAX 022-792-9334

東京支社

〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル8階
営業部:TEL 03-5939-4131 / FAX 03-5939-4135
出版部:TEL 03-5939-4133 / FAX 03-5939-4135

名古屋支社

〒460-0006 名古屋市中区葵1-23-14 プロト葵ビル7階
TEL 052-930-6668 / FAX 052-930-6669

福岡支社

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-2-10 南近代ビル9階
TEL 092-433-8851 / FAX 092-433-8853

沿革

1967年 7月 株式会社プロダクションアイエムエフ設立
1973年 2月 株式会社ビーエスアールに商号を変更 「月刊ボデーショップレポート」創刊
1976年 4月 東京都千代田区に東京支社開設
1985年 6月 「見積りガイド」創刊
1988年 7月 事故車修理料金算出システム「見積り博士・CD-1」販売開始
1989年 3月 株式会社リペアテック出版に商号を変更
1994年 3月 滋賀県米原市に「ボデーリペア技術研修所」設立
2001年 4月 事故車修理料金算出システム「プログレス」販売開始
2002年10月 株式会社プロトコーポレーション グループ傘下に入る
2005年 1月 名古屋市中区に名古屋支社開設
2005年 2月 株式会社リペアテックに商号を変更
2005年10月 事故車修理料金算出システム「正宗」販売開始
2007年 3月 福岡市博多区に福岡支社開設
2009年 1月 自動車钣金塗装見積りシステム「モレノン」販売開始
2011年 8月 自動車整備钣金統合システム「ラクロス」販売開始
2012年 1月 株式会社プロトリオス設立
2012年 9月 熊本市東区に熊本支社開設
2013年11月 東京都千代田区に千代田オフィス開設
2014年 4月 川崎市川崎区に関東支社開設
2014年 9月 岡山市北区に中国四国支社開設
2014年10月 株式会社アイソリューションズの全株式を取得
2015年 4月 福島県郡山市に郡山支社開設
2015年 6月 長野県松本市に松本支社開設
2016年 4月 熊本支社を福岡支社に統合
2016年10月 プロトグループのグループ会社編成の見直しに伴い、当社連結子会社である株式会社アイソリューションズが株式会社プロトデータセンターと合併しました
2017年 3月 郡山支社を仙台支社に統合
関東支社を東京支社に統合
松本支社を名古屋支社に統合
札幌支社を仙台支社に統合
2017年 8月 中国四国支社を大阪本社に統合
2018年 5月 千代田オフィスを東京支社に統合
2019年 9月 大阪市中央区平野町に本社移転
2022年 4月 札幌市中央区に札幌支社開設

株式会社プロトリオスのオウンドメディア

Webサイト



Mobiria
www.mobiria.jp



BSRweb
bsrweb.jp



MSRweb
msrweb.jp



コーポレートサイト
www.proto-rios.co.jp



クラッチ求人
job.clutch-s.jp



クラッチ
clutch-s.jp



Aftermarket News Web
www.amnews.jp

情報誌



月刊ボデーショップレポート



月刊メンテナンスショップレポート



Aftermarket News



YouTube Channel



X(旧Twitter)



Instagram